

# 筑波大学新聞

第261号

編集責任  
筑波大学新聞  
編集委員会  
委員長 中村紀一

TEL: 029(853)2040-6699  
E-mail: shinbun@sakura.cc.tsukuba.ac.jp  
月刊

発行所  
筑波大学  
茨城県つくば市  
天王台1-1-1

## 紙面から

国総研と協定締結  
Federation 展 古民家に巨大なイチゴ5  
柔道 福見、谷を下して優勝  
ズームアップ 新歓トラブル  
大学問題を考える 便覧・入学式  
石打研修所 民間に業務を委託

11 10 10 9 5 2  
特集 6,7  
自転車問題  
現場の今を見つめる  
ミニ特集 3  
新学群長が薦める一冊

## 大学院 共通科目を導入へ

### 「教え学ばせる」教育を強化

豊かな人間性を持った人材の育成や、研究倫理に関する教育指導を行うことなどを旨として、平成20年度から「大学院共通科目」を導入することが決まった。3月15日に行われた第39回教育研究評議会が承認された。今年度は試験的に、各研究科が開設する科目のうち「生命・環境倫理関係科目」など29科目を、大学院生に履修を推奨する科目として選定した。今年度中に、全学的な委員会として常設の「大学院共通科目準備委員会」を設置する予定だ。

20年度の開講が予定された「ラショナルファ」を提供できると想定している。受ける科目を検討している。受ける科目は各研究科・専攻に、今年度は試験的に、各研究科の開設科目のうち29科目を、大学院生に履修を推奨する科目として選定した。今年度中に、全学的な委員会として常設の「大学院共通科目準備委員会」を設置する予定だ。



約3000本のつつじが咲く。ゴールデンウィークには多くの観光客でにぎわった(筑波山で) (撮影・関田航二体育専門学群)

## つくば 歳時記

約3000本のつつじが咲く。ゴールデンウィークには多くの観光客でにぎわった(筑波山で) (撮影・関田航二体育専門学群)

## 改革元年 ②

### 学群改組を迫る

「学群」と「学類」。新構想大学である筑波大学の教育体制の特徴として、この二つがまず挙げられる。学類を越えた科目履修など、学部制にはない特色がある。

文理混合型のナンバー学群は、小さな総合大学に例えられる。開学当初は、専門の異なる教員や学生が同じ組織に所属することが、教員や学生にとって刺激になった。しかしその後、ナンバー学群は、学類間の調整機能や大学本部との連絡機能しか発揮できない状況となった(03年、「筑波大学の将来設計」最終報告

は、昨年9月に設置された「大学院共通科目検討ワーキンググループ(WG)」委員長白岩博教授・情報生物が検討を進めてきた。これは、文科省が唱える「大学院教育の実質化」と「研究者倫理教育の実施」に対応したものだ。

大学院ではこれまで、整えられた環境の中で、考え「教育が主流だった。しかし近年、基本事項を「教え学ばせる」教育の必要性が高まってきた。また、危険を伴う研究を行う中で、社会への説明責任や、高い倫理性が要求されている。今後は新設科目の担当教員の確保や、外部の講義の単位化を進めることが課題だ。今年9月までに20年度開設科目の具体案をまとめることを目指す。

WG委員長の白岩教授は「最近の院生は、幅広い能力を伸ばす努力を自主的にしないように思う。成績評価は厳しくしたいが、社会の大学院生に対する期待が高まっている。ぜひ受講してほしい」と語った。

博士後期の学生が、他の研究科の博士前期や修士に同時に在籍することができると、その共有を図る必要がある。このような方向での学群の改組再編を行う必要がある」と述べている。

開学から30年以上を経た、各学群はそれぞれアイデンティティを確立していった。山田宣夫第一学群長(文芸)は「学問の基礎領域を扱っているという共通認識が、第一学群にはあった」と語る。また、海老原義彦第三学群長(CS)は「第三学群は工学系という共通概念の下、まとまりのよい学群だった」と語る。しかしいずれの学群

も、それぞれのアイデンティティを、学外に強く発信できなかった。学生が学群の定義を知るのには、入学後、「補足的」に教えられてからがほとんどだ。本学のもう一つの特徴は、教育と研究の分離が、教育と研究の分離がある。本学が開学

その結果、教育内容が学群(現在の研究科)と専攻の研究内容と完全に一致しない形で、学群は組織された。しかし本学の学群は、各研究科の下に、各学群は研究科から予算をもらって教育活動を行うが、このように学群は柔軟な組織となっていたのではないかと指摘する。

「ナンバー学群」という大きな実験は、役割を終えた。「そもそも改組自体、さまざまな思惑が交錯し、学群のありかたを総括しきれないまま、新学群は始動した。(本紙、齋藤竜太比較文化学類)

## 学群の定義に長年の疑問 実質的な機能を果たせず



した昭和48年に制定された「国立73年の事務所開き「新構想大学」の始まり(筑波大学30年史編集委員会提供) べきでなかった」とも述べた。

は、25%もの高校が未履修で問題になった。思えば2年前、受験を控えた私も、たまたま合格するだけの勉強に没頭した。教員側にも、そういった認識があったと思う。英語の時間はひたすら長文を読み、地理の時間はセンター試験の過去問を毎回解いた。実践や学問としての面白さは無視された。勉強嫌いな私は、体育ならば興味を持てるだろうと、体育専門学群に入学した。大学では勉強しようと思えば、学生にとって魅力的な選択肢となる取り組みをしていきたい」と話した。

は、大学院ではこれまで、整えられた環境の中で、考え「教育が主流だった。しかし近年、基本事項を「教え学ばせる」教育の必要性が高まってきた。また、危険を伴う研究を行う中で、社会への説明責任や、高い倫理性が要求されている。今後は新設科目の担当教員の確保や、外部の講義の単位化を進めることが課題だ。今年9月までに20年度開設科目の具体案をまとめることを目指す。

WG委員長の白岩教授は「最近の院生は、幅広い能力を伸ばす努力を自主的にしないように思う。成績評価は厳しくしたいが、社会の大学院生に対する期待が高まっている。ぜひ受講してほしい」と語った。

博士後期の学生が、他の研究科の博士前期や修士に同時に在籍することができると、その共有を図る必要がある。このような方向での学群の改組再編を行う必要がある」と述べている。

開学から30年以上を経た、各学群はそれぞれアイデンティティを確立していった。山田宣夫第一学群長(文芸)は「学問の基礎領域を扱っているという共通認識が、第一学群にはあった」と語る。また、海老原義彦第三学群長(CS)は「第三学群は工学系という共通概念の下、まとまりのよい学群だった」と語る。しかしいずれの学群

も、それぞれのアイデンティティを、学外に強く発信できなかった。学生が学群の定義を知るのには、入学後、「補足的」に教えられてからがほとんどだ。本学のもう一つの特徴は、教育と研究の分離がある。本学が開学

その結果、教育内容が学群(現在の研究科)と専攻の研究内容と完全に一致しない形で、学群は組織された。しかし本学の学群は、各研究科の下に、各学群は研究科から予算をもらって教育活動を行うが、このように学群は柔軟な組織となっていたのではないかと指摘する。

「ナンバー学群」という大きな実験は、役割を終えた。「そもそも改組自体、さまざまな思惑が交錯し、学群のありかたを総括しきれないまま、新学群は始動した。(本紙、齋藤竜太比較文化学類)

は、25%もの高校が未履修で問題になった。思えば2年前、受験を控えた私も、たまたま合格するだけの勉強に没頭した。教員側にも、そういった認識があったと思う。英語の時間はひたすら長文を読み、地理の時間はセンター試験の過去問を毎回解いた。実践や学問としての面白さは無視された。勉強嫌いな私は、体育ならば興味を持てるだろうと、体育専門学群に入学した。大学では勉強しようと思えば、学生にとって魅力的な選択肢となる取り組みをしていきたい」と話した。

は、25%もの高校が未履修で問題になった。思えば2年前、受験を控えた私も、たまたま合格するだけの勉強に没頭した。教員側にも、そういった認識があったと思う。英語の時間はひたすら長文を読み、地理の時間はセンター試験の過去問を毎回解いた。実践や学問としての面白さは無視された。勉強嫌いな私は、体育ならば興味を持てるだろうと、体育専門学群に入学した。大学では勉強しようと思えば、学生にとって魅力的な選択肢となる取り組みをしていきたい」と話した。

は、25%もの高校が未履修で問題になった。思えば2年前、受験を控えた私も、たまたま合格するだけの勉強に没頭した。教員側にも、そういった認識があったと思う。英語の時間はひたすら長文を読み、地理の時間はセンター試験の過去問を毎回解いた。実践や学問としての面白さは無視された。勉強嫌いな私は、体育ならば興味を持てるだろうと、体育専門学群に入学した。大学では勉強しようと思えば、学生にとって魅力的な選択肢となる取り組みをしていきたい」と話した。

は、25%もの高校が未履修で問題になった。思えば2年前、受験を控えた私も、たまたま合格するだけの勉強に没頭した。教員側にも、そういった認識があったと思う。英語の時間はひたすら長文を読み、地理の時間はセンター試験の過去問を毎回解いた。実践や学問としての面白さは無視された。勉強嫌いな私は、体育ならば興味を持てるだろうと、体育専門学群に入学した。大学では勉強しようと思えば、学生にとって魅力的な選択肢となる取り組みをしていきたい」と話した。

は、大学院ではこれまで、整えられた環境の中で、考え「教育が主流だった。しかし近年、基本事項を「教え学ばせる」教育の必要性が高まってきた。また、危険を伴う研究を行う中で、社会への説明責任や、高い倫理性が要求されている。今後は新設科目の担当教員の確保や、外部の講義の単位化を進めることが課題だ。今年9月までに20年度開設科目の具体案をまとめることを目指す。

WG委員長の白岩教授は「最近の院生は、幅広い能力を伸ばす努力を自主的にしないように思う。成績評価は厳しくしたいが、社会の大学院生に対する期待が高まっている。ぜひ受講してほしい」と語った。

博士後期の学生が、他の研究科の博士前期や修士に同時に在籍することができると、その共有を図る必要がある。このような方向での学群の改組再編を行う必要がある」と述べている。

開学から30年以上を経た、各学群はそれぞれアイデンティティを確立していった。山田宣夫第一学群長(文芸)は「学問の基礎領域を扱っているという共通認識が、第一学群にはあった」と語る。また、海老原義彦第三学群長(CS)は「第三学群は工学系という共通概念の下、まとまりのよい学群だった」と語る。しかしいずれの学群

も、それぞれのアイデンティティを、学外に強く発信できなかった。学生が学群の定義を知るのには、入学後、「補足的」に教えられてからがほとんどだ。本学のもう一つの特徴は、教育と研究の分離がある。本学が開学

その結果、教育内容が学群(現在の研究科)と専攻の研究内容と完全に一致しない形で、学群は組織された。しかし本学の学群は、各研究科の下に、各学群は研究科から予算をもらって教育活動を行うが、このように学群は柔軟な組織となっていたのではないかと指摘する。

「ナンバー学群」という大きな実験は、役割を終えた。「そもそも改組自体、さまざまな思惑が交錯し、学群のありかたを総括しきれないまま、新学群は始動した。(本紙、齋藤竜太比較文化学類)

は、25%もの高校が未履修で問題になった。思えば2年前、受験を控えた私も、たまたま合格するだけの勉強に没頭した。教員側にも、そういった認識があったと思う。英語の時間はひたすら長文を読み、地理の時間はセンター試験の過去問を毎回解いた。実践や学問としての面白さは無視された。勉強嫌いな私は、体育ならば興味を持てるだろうと、体育専門学群に入学した。大学では勉強しようと思えば、学生にとって魅力的な選択肢となる取り組みをしていきたい」と話した。

は、25%もの高校が未履修で問題になった。思えば2年前、受験を控えた私も、たまたま合格するだけの勉強に没頭した。教員側にも、そういった認識があったと思う。英語の時間はひたすら長文を読み、地理の時間はセンター試験の過去問を毎回解いた。実践や学問としての面白さは無視された。勉強嫌いな私は、体育ならば興味を持てるだろうと、体育専門学群に入学した。大学では勉強しようと思えば、学生にとって魅力的な選択肢となる取り組みをしていきたい」と話した。

は、25%もの高校が未履修で問題になった。思えば2年前、受験を控えた私も、たまたま合格するだけの勉強に没頭した。教員側にも、そういった認識があったと思う。英語の時間はひたすら長文を読み、地理の時間はセンター試験の過去問を毎回解いた。実践や学問としての面白さは無視された。勉強嫌いな私は、体育ならば興味を持てるだろうと、体育専門学群に入学した。大学では勉強しようと思えば、学生にとって魅力的な選択肢となる取り組みをしていきたい」と話した。

は、25%もの高校が未履修で問題になった。思えば2年前、受験を控えた私も、たまたま合格するだけの勉強に没頭した。教員側にも、そういった認識があったと思う。英語の時間はひたすら長文を読み、地理の時間はセンター試験の過去問を毎回解いた。実践や学問としての面白さは無視された。勉強嫌いな私は、体育ならば興味を持てるだろうと、体育専門学群に入学した。大学では勉強しようと思えば、学生にとって魅力的な選択肢となる取り組みをしていきたい」と話した。

は、25%もの高校が未履修で問題になった。思えば2年前、受験を控えた私も、たまたま合格するだけの勉強に没頭した。教員側にも、そういった認識があったと思う。英語の時間はひたすら長文を読み、地理の時間はセンター試験の過去問を毎回解いた。実践や学問としての面白さは無視された。勉強嫌いな私は、体育ならば興味を持てるだろうと、体育専門学群に入学した。大学では勉強しようと思えば、学生にとって魅力的な選択肢となる取り組みをしていきたい」と話した。

は、大学院ではこれまで、整えられた環境の中で、考え「教育が主流だった。しかし近年、基本事項を「教え学ばせる」教育の必要性が高まってきた。また、危険を伴う研究を行う中で、社会への説明責任や、高い倫理性が要求されている。今後は新設科目の担当教員の確保や、外部の講義の単位化を進めることが課題だ。今年9月までに20年度開設科目の具体案をまとめることを目指す。

WG委員長の白岩教授は「最近の院生は、幅広い能力を伸ばす努力を自主的にしないように思う。成績評価は厳しくしたいが、社会の大学院生に対する期待が高まっている。ぜひ受講してほしい」と語った。

博士後期の学生が、他の研究科の博士前期や修士に同時に在籍することができると、その共有を図る必要がある。このような方向での学群の改組再編を行う必要がある」と述べている。

開学から30年以上を経た、各学群はそれぞれアイデンティティを確立していった。山田宣夫第一学群長(文芸)は「学問の基礎領域を扱っているという共通認識が、第一学群にはあった」と語る。また、海老原義彦第三学群長(CS)は「第三学群は工学系という共通概念の下、まとまりのよい学群だった」と語る。しかしいずれの学群

も、それぞれのアイデンティティを、学外に強く発信できなかった。学生が学群の定義を知るのには、入学後、「補足的」に教えられてからがほとんどだ。本学のもう一つの特徴は、教育と研究の分離がある。本学が開学

その結果、教育内容が学群(現在の研究科)と専攻の研究内容と完全に一致しない形で、学群は組織された。しかし本学の学群は、各研究科の下に、各学群は研究科から予算をもらって教育活動を行うが、このように学群は柔軟な組織となっていたのではないかと指摘する。

「ナンバー学群」という大きな実験は、役割を終えた。「そもそも改組自体、さまざまな思惑が交錯し、学群のありかたを総括しきれないまま、新学群は始動した。(本紙、齋藤竜太比較文化学類)

は、25%もの高校が未履修で問題になった。思えば2年前、受験を控えた私も、たまたま合格するだけの勉強に没頭した。教員側にも、そういった認識があったと思う。英語の時間はひたすら長文を読み、地理の時間はセンター試験の過去問を毎回解いた。実践や学問としての面白さは無視された。勉強嫌いな私は、体育ならば興味を持てるだろうと、体育専門学群に入学した。大学では勉強しようと思えば、学生にとって魅力的な選択肢となる取り組みをしていきたい」と話した。

は、25%もの高校が未履修で問題になった。思えば2年前、受験を控えた私も、たまたま合格するだけの勉強に没頭した。教員側にも、そういった認識があったと思う。英語の時間はひたすら長文を読み、地理の時間はセンター試験の過去問を毎回解いた。実践や学問としての面白さは無視された。勉強嫌いな私は、体育ならば興味を持てるだろうと、体育専門学群に入学した。大学では勉強しようと思えば、学生にとって魅力的な選択肢となる取り組みをしていきたい」と話した。

は、25%もの高校が未履修で問題になった。思えば2年前、受験を控えた私も、たまたま合格するだけの勉強に没頭した。教員側にも、そういった認識があったと思う。英語の時間はひたすら長文を読み、地理の時間はセンター試験の過去問を毎回解いた。実践や学問としての面白さは無視された。勉強嫌いな私は、体育ならば興味を持てるだろうと、体育専門学群に入学した。大学では勉強しようと思えば、学生にとって魅力的な選択肢となる取り組みをしていきたい」と話した。

は、25%もの高校が未履修で問題になった。思えば2年前、受験を控えた私も、たまたま合格するだけの勉強に没頭した。教員側にも、そういった認識があったと思う。英語の時間はひたすら長文を読み、地理の時間はセンター試験の過去問を毎回解いた。実践や学問としての面白さは無視された。勉強嫌いな私は、体育ならば興味を持てるだろうと、体育専門学群に入学した。大学では勉強しようと思えば、学生にとって魅力的な選択肢となる取り組みをしていきたい」と話した。

は、25%もの高校が未履修で問題になった。思えば2年前、受験を控えた私も、たまたま合格するだけの勉強に没頭した。教員側にも、そういった認識があったと思う。英語の時間はひたすら長文を読み、地理の時間はセンター試験の過去問を毎回解いた。実践や学問としての面白さは無視された。勉強嫌いな私は、体育ならば興味を持てるだろうと、体育専門学群に入学した。大学では勉強しようと思えば、学生にとって魅力的な選択肢となる取り組みをしていきたい」と話した。

## 筑波大学

高校の必修科目未履修問題に揺れた昨年の大学受験。公立高校の8%、私立高校に至っては、25%もの高校が未履修で問題になった。思えば2年前、受験を控えた私も、たまたま合格するだけの勉強に没頭した。教員側にも、そういった認識があったと思う。英語の時間はひたすら長文を読み、地理の時間はセンター試験の過去問を毎回解いた。実践や学問としての面白さは無視された。勉強嫌いな私は、体育ならば興味を持てるだろうと、体育専門学群に入学した。大学では勉強しようと思えば、学生にとって魅力的な選択肢となる取り組みをしていきたい」と話した。

# 国総研と協定締結

## 共同研究をさらに推進

### 人文・社会科学の分野でも

本学は国土交通省国士定を締結した。今後は人文・社会科学分野を含めた総合的な共同研究、人材の育成・交流の円滑な実施を目的とする。



協定に調印する望月所長と岩崎学長(経営協議会室で)

国総研の望月常好所長は「これまで理工系の分野で個別に共同研究を行ってきた。今後は人文・社会科学分野についても情報を得ていく。現在は「地球温暖化による海面上昇への対応」をはじめ、10個ほどのテーマが決まっている。

## 記者が語る新聞の現状

### 「最前線」の話に大反響

マスコミの第一線で活躍する本学のOB・OGを講師に招き、社会学類開設のジャーナリズム講座「青木彰記念・ジャーナリズムとメディアの現在」が今年度より開講された。学期末型の科目で、1学期4月18日の第1回講義では、講師に日本経済新聞

「これまでは理工系の分野で個別に共同研究を行ってきた。今後は人文・社会科学分野についても情報を得ていく。現在は「地球温暖化による海面上昇への対応」をはじめ、10個ほどのテーマが決まっている。

今回の講演では、科学についての話だけに留まらず、中田准教授がMITコンドリア研究を始めたきっかけなども語られた。参加した宮川歩さん(人社2年)は「参加したのは初めて。高度な内容だが、わかりやすく説明されていて面白かった。また来た」と語った。

## 新任副学長に聞く

4月1日付で、組織人事担当副学長に、波多野澄雄教授(国際)が就任した。今後の課題や抱負を聞いた。

「就任にあたっての抱負を。」  
本学には附属学校が11校あり、11地区のほかに東京地区にも多くの施設や知的資源を保持している。現在の体制では、その豊かですす野の広い資源を教育や研究に生かすことができない。個々の教員の能力も高いが、外から見えにくいという問題を抱えている。本学の知的資源を世界にアピールしていくためには、外から見やすい組織作りをしていく必要がある。

「当面の課題は。」  
本学では今年度教員の評価を試行する。来年度から本格的に導入されるが、これは他の大学と比べて先



## 教員の自己点検と評価を

端的な取り組みといえる。個々の教員の自己点検・自己評価と、活動実績の大学としての正当な評価が目的だ。3年ごとに教育研究、社会貢献という3点について自己点検していただくことになる。

「教員の評価について。」  
本学では今年度教員の評価を試行する。来年度から本格的に導入されるが、これは他の大学と比べて先



第2回講義の様子。会場には多くの学生が集まった

## ゆりのき保育所 6人が新たに入所

乳児が多数 充足率4割強

昨年12月に追越地区に開所したゆりのき保育所に、今年度の新規入所者の子どもの数は、6人増えたと発表された。

## 国立美術館キャンパスメンバーズ 常設展の観覧無料に

学生証を提示 5美術館で

本学は4月1日より、学校教育において美術館を有効に活用し、学生や教職員が美術館を身近に感じられることを目的として、5つの国立美術館の窓口で

「国立科学博物館(東京・台東区、入館料500円)、筑波実験植物園(つくば市、入館料300円)、自然教育園(東京・港区、入館料300円)に無料入館が実施される。また、特別展は500円の特別割引となる。

## ゆりのき保育所 6人が新たに入所

乳児が多数 充足率4割強

現在入所者のほとんどが0-1歳の子どものため、入所者数の低迷は経営上苦しいが、大学や病院に設置された保育所の場合、同様の問題はよく見られることだ。

## バイオeカフェ

7月から食堂休業 第62回厚生会理事會が3月29日、本部棟会議室で行われた。理事會には厚生会学生理事と、高橋健夫副学長(学生生活担当・当時)や学生生活課の職員が参加。学内の自販機の契約形態が変更されることや、第三エリアの食堂が7月ごろから休業することなどが報告された。

# 新学群長が薦める一冊

大学時代には自分のために使える時間がたくさんある。その時間を使って、新たな世界へと導いてくれる著者たちと対話してみてもいいだろうか。新学群長にお薦めの一冊を紹介してもらった。

## 人文・文化学群

### 山田 宣夫

「経済学とは何だろうか」(佐和隆光著、岩波新書、1982年、480円)  
ある研究対象を扱う「理論」が、現実のデータと「まぐ整合しない」という矛盾に突き当たったとき、その矛盾は、既成の理論を部分修正することによって解消できるものなのか。それとも、その矛盾が当該の理論にとってある意味で致命的な問題を提起するが故に、理論そのものが何らかの新しいパラダイムによって取って代わられることになるのか。この問題は、科学的分野にも内在する根本的な問題であろう。

和」です。「所有したかに見えるのは、実は預けられているに過ぎず、人間元来無一物……」。無所有というのはいくつかの点で、無一物……。無所有というのはいくつかの点で、無一物……。無所有というのはいくつかの点で、無一物……。

## 人間学群

### 宮本 信也

「罪と罰」(ドストエフスキ著)  
「罪と罰」(ドストエフスキ著) 私たちは、似たような論理で行動している人々を、現代の日本の中に多く見いだすことができます。しかも、それは、子どもたちの中には、まだ読んだことのない学生さんがいるように感じます。この本の主人公の論理は、実は、電車の中で化粧をすることを何とも感じない人たちにまで通じるものがあるのです。

## 理工学群

### 岡本 健一

「化学・意表を突かれる身近な疑問」(日本化学会編、講談社、2001年、840円)  
「最近本を読む若者が少なくなった」といわれる。本を書き進めたいといわれ、私は若くないが、雑用をこなす暇を考えると、追われて本を読む機会がほとんどないことに改めて気づかされた。

## 社会・国際学群

### 北脇 信彦

「徳川家康」(山岡荘八著、講談社文庫、全26巻、第一巻発行1987年)  
専門から離れて、あるいは電車の中で、息抜きに読む本は歴史小説です。そんな中でまた読み返したくな

「徳川家康」(山岡荘八著、講談社文庫、全26巻、第一巻発行1987年) 二次大戦の末期、鹿児島県の鹿屋基地に特攻兵として最後の従軍を命じられた著者が、時代を徳川の草創期から再び読み返したくな

## 生命環境学群

### 林 純一

「へんないきもの」(早川和生著、バジロコ株式会社、2004年、1575円)  
この本は、普段我々が意識したり目に留めたりしないような生き物にスポットライトを当て、その特徴や生態などについて簡潔にイラスト付きで説明してい

「へんないきもの」(早川和生著、バジロコ株式会社、2004年、1575円) 紹介されている生き物は、いずれもその外見や生態に強烈な個性があるものばかりで、生物界の多様性を見せつけられる。紹介文もユーモアと毒舌満載なので、肩の力を抜いて、気軽に

## 情報学群

### 海老原 義彦

「五輪書」(宮本武蔵著、神子侃訳、徳間書店、1984年、1800円)  
「五輪書」は宮本武蔵自身が一生涯にわたって書き残したものです。昭和59年12月吉日、友朋堂にて求むると本に記載してあるので、約22年間、座右の書と行かないまでも、私の本棚にあります。購入した

「五輪書」(宮本武蔵著、神子侃訳、徳間書店、1984年、1800円) 時代背景が異なるので、「五輪書」はなかなか理解するのが困難です。しかし、海戦(1905年)の後編に書かれているように、60数回の真剣勝負で生死を懸けて生き抜いてきた剣豪の言葉は、対人関係、人間関係、現在の社会生活にも通用するものがあり、武蔵は剣術ばかりでは

## 医学群

### 大塚 藤男

「ベルツの日記」(上、下)(トク・ベルツ編、岩波文庫、1979年、各420円)  
「ベルツの日記」は外国人の見た清末・明治の日本を記述している日記や書物の一つであり、既に古典的書物と言っていじでし

「ベルツの日記」(上、下)(トク・ベルツ編、岩波文庫、1979年、各420円) ベルツは日記の中で、医学教育の初期の様子、また当時の医療、明治日本(1890年)の社会や日本人の有り様などを透徹した目をもって観察、記述しています。当時の日本人の、医学や科学の受容の仕方などに対する鋭い視点など、考えさせられる点が多くあります。日本の近代医学や科学の黎明を、日本で過ごした外国人の視点でたどってみることは、大学の勉学を開始する皆さんにとっても有意義でしょう。さらに、自らと科学、あるいは医学・医療、社会との関わりなどについて考える契機にもなるのではないのでしょうか。

## 体育専門学群

### 野村 良和

「身体ダイアログ」(佐藤学対談集、太郎次郎社、2002年、2000円)  
本書は、以下に記すような各方面の第一人者と、教育者である佐藤学氏との対談をまとめたもので、そのほとんどは既に雑誌などに掲載されたものです。全体として、目に見えるものとその背後にある、あるいは内在するものとの関係性を再考する機会になるのではないのでしょうか。負け犬の遠吠えではなく、見えぬものにこそ価値があるという見方。しかし、本当に価値のあるものは見えないことが多い、という表現の方がより正しいかもしれません。

## 芸術専門学群

### 西川 潔

「日本デザイン論」(伊藤ていじ著、鹿島出版会、SD選書5、1966年、1890円)  
パウハウス※の影響を強く受けた造形教育「構成」を学んだ私は、数学的秩序的な西欧の抽象的造形を身近に感じてきた。国際的感覚や時代の先端をいくアートのデザインを受け入れるのに都合が良かった反面、どこか地に足のつかない感じをいつも抱いていた。



「日本デザイン論」(伊藤ていじ著、鹿島出版会、SD選書5、1966年、1890円) そんな時「日本デザイン論」に出会った。著書の伊藤ていじ氏は建築史が専門で、1960年代中ごろにワシントン大学の客員教

「日本デザイン論」(伊藤ていじ著、鹿島出版会、SD選書5、1966年、1890円) そんな時「日本デザイン論」に出会った。著書の伊藤ていじ氏は建築史が専門で、1960年代中ごろにワシントン大学の客員教

「日本デザイン論」(伊藤ていじ著、鹿島出版会、SD選書5、1966年、1890円) そんな時「日本デザイン論」に出会った。著書の伊藤ていじ氏は建築史が専門で、1960年代中ごろにワシントン大学の客員教

「日本デザイン論」(伊藤ていじ著、鹿島出版会、SD選書5、1966年、1890円) そんな時「日本デザイン論」に出会った。著書の伊藤ていじ氏は建築史が専門で、1960年代中ごろにワシントン大学の客員教









# 茗溪山脈 体育・スポーツ列伝

## 竹内善徳



アトランタ五輪での竹内(左から2人目) 善徳本学名誉教授(体育)は、柔道の国際化に貢献した柔道家の人だ。現役時代には全日本選手権で優勝。本学の教授に就任し、国

今や国際的競技となった柔道。1964年に開かれた東京五輪で正式種目となって以来、世界的に普及し、現在187カ国が国際柔道連盟(IJF)の多大な努力がある。

故・竹内善徳本学名誉教授(体育)は、柔道の国際化に貢献した柔道家の人だ。現役時代には全日本選手権で優勝。本学の教授に就任し、国際柔道連盟副会長、アジア柔道連盟会長などを歴任するなど、競技、教育双方の面で活躍した。また、海外での指導活動や審判活動を行うと共に、公認審判制度の導入などに取り組んだ。

■競技者としての竹内 竹内は37年、北海道札幌市に生まれ、56年に本学の前身である東京高等師範学校の校長で、近代柔道の祖、嘉納治五郎師範から先人の柔道精神を継承した。

# 世界を飛び回った柔道家 公認審判員制導入に尽力

20代のころから、外務省や講道館の派遣で、数十カ国で海外指導に携わった竹内は、柔道界きっての国際派だった。有段者すらいない国も多かった時代、ある時は戦車が走り回る中東で、またある時はアフリカの、テン

入りに取り組む。当時、国内の大会では、慣習として、高段者が審判を行っていた。しかし竹内は、柔道の国際的な発展のためには、柔道の本家日本に、明確な基準による審判制度の導入が必要であると考えていた。

制度導入の検討を開始したのは89年で、制度が行われたのが90年。その間、わずか1年だが、A、B、Cの3ランクのライセンスと、審判員の質の向上を図るための研修制度や試験制度が整備された。Aライセンスを取得した審判員は、現在全国に約700人いるという。

■「人望の柔道家」 竹内の活動は、各方面で高く評価されている。アジア柔道連盟の会長選挙では、26対10で当選し、「嘉納治五郎の子孫の嘉納家以外から日本人が選出されたのは初めて。竹内先生の人望の厚さを象徴している」と、小俣教授は語る。

その後も、柔道の国際化に尽力を重ね続けた。ちょうど1年前の06年5月14日、アジアジュニア柔道選手権大会のために訪れていた韓国の済州島で、心不全のため急死。享年68。戦前、東京五輪招致に成功した帰路、船上で客死した嘉納治五郎師範のような、死の直前まで世界を飛び回り続け、人人生だった。

(本紙・齋藤竜太比較文化学類)

# 関東学生春季リーグ 女子1位、男子4位で推移

## 男子 因縁の早大に競り負け

### ハンド

関東学生ハンドボール春季リーグが4月14日から川崎市とろろアリーナなどで開催された。5月6日現在、男子は4勝2敗1分けの4位、女子は6勝無敗の1位となっている。

開幕戦から3連勝した本学男子は4月28日、リーグ暫定1位で、同じく3連勝していた暫定2位の早稲田大と対戦した。

序盤は早稲田が優位に試合を進めた。本学は開始から4連続得点を許し、開始13分には1-6まで離され



早稲田戦でシュートを放つ銘苅敦(体専4年)

た。しかし、15分からは4連続得点を奪うなどし、一進一退の攻防が続いた。実力が均衡していた両チーム後半に入り、本学は再び

5点差をつけられるも、開始9分から24分までは失点を一点に抑え、逆に主将の松永真治(体専4年)の3連続得点などで逆転。残り5分で22-20と2点リードした。流れを掴んだかに思われたが、「厳しい試合を切り抜けてきた分、早稲田は土壇場で強かった」と大西武三監督(体育、教授)。

早稲田に3連続得点を許し、再逆転された。残り時間3秒で速攻からシュートを放つも、相手キーパーに阻まれ、22-23の1点差で敗れた。

男子は昨年の春季大会でも、全勝同士の対決で早稲田と並び、1点差での逆転負けを喫している。

大西監督は「ゲームリダーの海道衛秀(平成18年度体専卒)が抜けた今年、春の段階ではうちはまた未

# 大学 6勝1敗で勝ち点3

## 野球

6チームで戦う07年度首都圏大学春季リーグ戦が4月14日、平塚球場(神奈川県平塚市)で開幕した。

秋春連覇を目指す本学硬式野球部は、第3節を終え、5月7日の時点で6勝1敗、勝ち点を3としている。

投手陣は、エース・坪井俊樹(体専3年)が今季も好調。二戦目・先発の岩崎晃洋(同3年)も白星を重

ねている。坪井は、武蔵大との開幕戦を完封勝利で飾ると、帝京大との一戦目こそ崩れたものの、あとの登板では完投を果たしている。守備では、中堅手に小野晃義(同4年)が入り、追加点は、武蔵大を大きく突き放した。坪井は無四球完封、7-0で初戦をものにした。

第5節・東海大戦は5月26、27日に平塚球場で行われる。川村卓監督(体育講師)は目

順位	チーム	勝	敗	分	勝率
1	筑波大	6	0	0	1.000
2	早稲田大	4	0	0	1.000
3	日本文学大	4	2	0	0.667
4	帝京大	3	3	0	0.500
5	武蔵大	0	6	0	0.000
6	城西大	0	7	0	0.000



シュートを放つ木村励(体専4年)

第42回筑波大学・日本体育大学バスケットボール定期戦が代々木競技場第2体育館(東京・渋谷区)で開催され、1350人の観客が来場した。男女各チームずつで対戦し、本学はもとにも、Bチーム戦では勝利

筑波大・日体大定期戦 男女とも連覇ならず

第42回筑波大学・日本体育大学バスケットボール定期戦が代々木競技場第2体育館(東京・渋谷区)で開催され、1350人の観客が来場した。男女各チームずつで対戦し、本学はもとにも、Bチーム戦では勝利



お披露目式で。蹴球部員が多数を占める

# 「Sportiva Tsukuba」好発進

## サッカー

つくば発のプロサッカーチーム「Sportiva Tsukuba」が、4月1日から始まった全国クラブチームサッカー選手権茨城大会で優勝した。

このチームは昨年6月に設立された「つくば市にプロサッカークラブをつくる会」が中心となって運営

同チームには本学蹴球部の学生23人が参加し、一般選考会で選ばれた茨城県内に住む他大学の学生3人も加わっている。監督は本学大学院生の牟田圭佑さん(体育2年)が務める。

牟田さんは大会について「試合では自分たちがしたい人、ボールが動くサッカーができていた。相手のカウンター攻撃への対応などに課題が残るが、続く関東大会でもいい結果を残したい」と話した。

チームは10-15年かけてJリーグ入りを目指す。そのためには、まず4部で構成される県リーグで優勝し、2部構成の関東社会人リーグを勝ち抜き、全国社会人地域リーグ、さらにアマチュアチームの最高峰である日本フットボールリーグ(JFL)で上位になる必要がある。

会長の立見康弘さんは「活気あるつくば市をつくるために設立した。地域に根差したチームを作りたい。声援と協力をお願いします」と話した。

同会は、1口3000円からのチームを支える市民オーナーと、月1000円

したもの、Aチーム戦では惜敗した。

昨年度インカレ覇者との対戦となった本学女子は、試合開始当初はリードを保ったが、第2ヒリオド残り約3分、3ポイントシュートで追い抜かれる。終盤、前村かおり(体専4年)の3ポイントシュートを皮切りに攻勢をかけた。しかし、及ばず、76-77で惜敗した。

関東2部に所属する本学男子と、一部所属の日本体育男子との対戦では、前半を39-35で折り返した。しかし後半に入ると、日体大のねほり強いディフェンスに阻まれ、63-79で敗れた。

試合結果は以下の通り▽筑波大0-2法大▽筑波大0-1明大▽筑波大0-1経大▽筑波大2-3国士館大▽筑波大1-1駒大▽筑波大1-0東大▽筑波大2-4早大▽筑波大2-3青学大

からの企業・団体スポーツを募集している。詳しい情報は同会ホームページ <http://www.tsukuba-cs/soccer>

関東大学リーグ 現在最下位も復調

関東大学サッカーリーグが4月1日から国立西が丘サッカー場(東京・北区)などを会場に開催され、5月11日時点で8試合終了した。本学は今シーズンに入って1勝6敗1引き分けと順位も最下位だが、調子は上がってきている。

同リーグの残りの試合について浅井武監督(体育、准教授)は「守備を固め、その上で攻撃を組み立てることが課題だ」と話した。



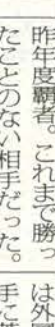
全日本選抜体重別選手権

# 福見、谷を下して優勝

## 5年越し勝利も、「代表」逃す

### 世界選手権 本学からは秋本のみに

#### 柔道



世界選手権代表の最終選考材料となる全日本選抜柔道体重別選手権が4月7-8日に、福岡国際センター(福岡市博多区)で開催された。本学からは秋本啓之(体専4年)福見孝子(同)、伊部尚子(同2年)、藤田康恵(同)が出場。秋本と福見の2人が共に初優勝を果たした。秋本は代表権を獲得したが、福見は決勝で破った谷亮子(トヨタ)に代表権を奪われた。伊部と藤田は1回戦で敗退した。秋本が出場した男子66キロ級は1日目に終わった。1回戦で対戦した須藤英雄(ダイコク)は、同大会の



「世界の谷」を相手に、ひるむ様子は見られなかった(福岡国際センターで)

昨年度覇者。これまで勝ったことのない相手だった。残り8秒、得意の背負い投げで須藤の背中が畳につき、一本勝ちをおさめた。「この勝利で波に乗れた」という秋本。もう一人の優勝候補で、秋本が「白黒つけたかった相手」と語る内柴正人(旭化成)が初戦で敗れたため、順調に勝ち進んだ。梅津敏昭(総合警備保障)との決勝でも、背負い投げを何度もかけ、残り2分31秒で見事一本。初優勝に輝いた。秋本は今回の優勝を受けて、世界選手権の代表に選出されたが、今後の道のりは平坦ではない。昨年12月1回戦で対戦した須藤英雄(ダイコク)は、同大会の

外国人選手の変形型組み手に苦しめられた。目標は金メダルだが、外国人の組み手への対策が課題だ。外国人選手との練習や海外遠征で研さんを積みつもりだ」と意欲を見せた。2日目、女子48キロ級に出場した福見は、決勝まで行かないと意味がない。死にものぐるいだったという。1回戦を一本勝ち、2回戦では同階級のホープ、中村美里(渋谷教育学園)を有効で下し、決勝に進出した。決勝の相手は、産休から復帰した、シドニー、アテネ五輪連覇の谷亮子(トヨタ)。1回戦でチェコ国際優勝者、伊部尚子(体専2

年)を一本で下し、会場に存在感を見せつけていた。試合開始直後から激しく組み合うが、互いに襟を持たせまいとし、双方に指導が入る。「普通に技をかけたも通用しない。反応を利用し裏をかかないと勝てない」と思った。残り約1分15秒、福見は谷の左足を刈る見せかけて谷の膝を払い、有効。そのまま試合終了のブザーが鳴ると、会場が大きくよめいた。

優勝したが、「胸中は複雑だ」と、福見は語る。試合直後に行われた世界選手権代表の選考会では、五輪連覇など、海外での実績で勝る谷が代表に選ばれた

からだ。しかし福見は「この勝利を機に、世界の頂点へとさらなる高みを目指したい」と、前向きに語った。岡田弘隆監督(体育・准教授)は「秋本は頂点に立てるだけの技を持っている。福見の活躍は異例だ。納得がいかなければ」と語る。

### 第83回日本選手権

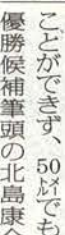
岡崎(50kg級)の3位が最高



水泳 岡崎晃一郎

### 水泳

第83回日本選手権水泳競泳大会が4月5-8日にかけて、千葉県国際総合水泳場(習志野市)で行なわれ、本学から新入生6人を含む24人が出場した。



小林拓矢

自由形では、小林拓矢(同1年)が4位に入賞。優勝候補筆頭の北島康介(1500m自由形では、西尾樹樹(同2年)が5位に入賞した。本大会は、第24回ユニバーシアード競技大会およびインターナショナルスラムミート2007の代表選手選考会を兼ねていたが、本学からの代表入りは果たせなかった。

50kg級では3位に入賞した岡崎は、本大会では「納得の出来る成績が残せなかった」という。得意の100mで決勝に進出することができず、50mでも優勝候補筆頭の北島康介

ナメント1回戦で今大会優勝の香港ペアに敗退し、ベスト16に終わった。女子シングルスでは、野中、伊藤とも決勝トーナメント2回戦で敗退し、ベスト32だった。

安藤真太郎監督(体育・講師)は「野中が実力のある選手と互角に戦えたのではないかと話した。」

07年度関東学生新人選手権大会が4月25、26の両日、駒沢体育館(東京・世田谷区)で開催された。本学からは7人が出場し、男子ダブルスで田代拓大(同1年)、仁科啓(同)ペアがベスト4に入った。シングルスでは、田代がベスト16、山田(同)がベスト32に入った。

「よく晴れた空が映ったプールの水面は、それが空なのか水面なのか分からなくなる。そう話すのは、国総2年に所属しながら週5日土浦のプールに通う山村祐毅さんだ。

中学のころから全国中学校体育大会飛び込み個人部の部で優勝するなど、全国トップレベルの選手として活躍してきた。彼の持ち味はジャンプ力と力強さだ。「演技が決まった瞬間の気持ち良さは格別」と山村さんは飛び込みの魅力について語る。

飛び込みは5、7、5、10メートルそれぞれの高さのコンクリート台から飛び込む高飛び込みと、1メートルまたは3メートルの高さから飛び込みを跳ぶ。飛び込みの練習は、小さいころから両親は山村さんに少林寺拳法やサッカークリケット、テニスなどいろいろのことを習わせた。講習会の後、コーチに飛び込みを続けたいかと誘われ、その後も友人を誘って練習に励んでいる。



卓球 野中由紀



伊藤みどり

### 卓球世界ブロッター 野中、伊藤が出場し善戦

世界各地のオープン大会をツアー化し、1年間を通して開催されるITTFブロッターのうち、ブラジルオープンが4月12-15日、チリオープンが4月19-22日にかけて開催された。本学卓球部からは、この2大会に、野中由紀(体専4年)と伊藤みどり(同4年)が参加した。ブラジルオープンでは、野中が女子シングルの決勝

勝利を挙げ、世界の頂点へとさらなる高みを目指したい」と、前向きに語った。岡田弘隆監督(体育・准教授)は「秋本は頂点に立てるだけの技を持っている。福見の活躍は異例だ。納得がいかなければ」と語る。

「よく晴れた空が映ったプールの水面は、それが空なのか水面なのか分からなくなる。そう話すのは、国総2年に所属しながら週5日土浦のプールに通う山村祐毅さんだ。

中学のころから全国中学校体育大会飛び込み個人部の部で優勝するなど、全国トップレベルの選手として活躍してきた。彼の持ち味はジャンプ力と力強さだ。「演技が決まった瞬間の気持ち良さは格別」と山村さんは飛び込みの魅力について語る。

飛び込みの練習は、小さいころから両親は山村さんに少林寺拳法やサッカークリケット、テニスなどいろいろのことを習わせた。講習会の後、コーチに飛び込みを続けたいかと誘われ、その後も友人を誘って練習に励んでいる。

国際関係を学ぶ飛び込み選手 山村祐毅さん(国総2年)

美しい演技で世界へダイブ



国際関係を学ぶ飛び込み選手 山村祐毅さん(国総2年)

入学者、本格的に練習を再開したのは昨年の6月。勉強との両立は大変だが、国総ではスポーツ以外のことに触れることができ、刺激的だ。当面の課題は美しい演技をすること。「世界大会出場をかけた、まずは夏の選手権で3位以内に入ることが目標」と山村さんは話す。国際関係を学ぶ飛び込み選手は、今日も練習に励んでいる。

美しい演技で世界へダイブ (本紙・篠崎真希II国際総合学類)

### 記録ファイル

関東大学バドミントン春季リーグ (女子一部) 4月28-30日 まで、日体大建志台キャンパス本記念体育館)▽筑大0-5青学大▽筑大3-12専修大▽筑大1-4早大▽筑大4-1明大▽筑大1-3日体大▽5位 (男子三部) 4月20-22日 まで、東京経済大武蔵村山キャンパス体育館で)1勝4敗▽5位

### 新歓トラブル

今年も入学式が行われた4月9日から5月31日にかけての新歓月間に、多くの新歓イベントが開かれ、さまざまなサークルや学生団体が新入生の勧誘に力を入れている。また、同じ時期に、各学類の新歓も行われ、毎日のように歓迎会が開かれている。

しかし一方、新歓月間には、飲酒や騒音などのトラブルも多い。新歓月間は、イベントは午後10時過ぎまで続くことも多い。

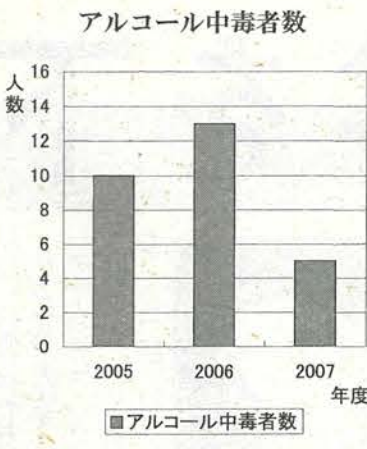
## ズムズム

ためだ。学生生活課の宮坂重喜課長は「毎年注意を呼びかけているが、新歓を仕切る学生は、翌年になれば代わってしまふ」と現状を嘆く。

### 夜中の騒音に住民から苦情

### 気づけば致死量急性アル中

近隣住民からの苦情は、4月末まで2件報告された。急性アルコール中毒も、新歓時期に多発する。



告知されている。また、平砂宿舎などに住む学生からの苦情も多い。平砂宿舎に住む学生は「4月半ばまではうるさかった。たまに夜中まで騒いでいる人もいて驚いた」と語る。

騒音の被害は、宿舎やアパートなどでも多い。新歓イベントが終わった後に、2次会を宿舎やアパートで行うことが多い。

急性アルコール中毒は、致死量に達する。急性アルコール中毒の被害は、後を絶たない。

新歓コンパの際には、新入生にアルコールをかける、イッキ飲みをさせることも多い。しかし、飲酒の際にイッキ飲みは厳禁。血中のアルコール濃度が最も高くなるのは、飲酒後30～60分で、短時間でも危険な状態である。

### 大学問題を考える

#### 投書

投書 生命環境科学研究科2年次に在籍する院生です。大学院博士課程修業は、なぜあれほど厚いのでしょうか。便覧700ページのTWINNSで履修申請すること考えれば、20ページ程度で、中でも研究科の開設科目に関連する部分は数ページです。また、単位を取り終えた修士2年生の場合、全く便覧に目を通さずに1年が終わることもありま。

年前からウェブ版やCD、研究科ごとに分冊して配布するなどの方法を検討していただきました。

必要があると思います。今後について、今回は、利便性を第一に考え、次にコストを考慮しました。今後は調査の上、学生の意向を参考に、最善策を検討するつもりです。

#### 取材メモ

紙の便覧は資源浪費か

紙は上質紙を使用し、再生紙より、上質紙は、再生紙よりも厚く、分厚い。分厚い紙は、上質紙の方が適している。環境対応に配慮し、紙の4分の1以下で済むように、紙の便覧は、学生がウェブ版だけで本手に履修システムを全学で考える

今年度の保護者控え室は、マルチメディアルーム

今年度の保護者控え室は、マルチメディアルーム

### 病院の廊下を明るく

本学芸術専門学群の学生と筑波メディアカルセンターの協力で企画・制作した「きらりひらりふわり展」が3月12日から5月31日まで、筑波メディアカルセンター病院(つくば市天久保)内新館検査室前で行われている。



中田理事長は「31日の展示終了後も、センター内での展示を続けていきたい」と話している。連見教授は「病院に怪我をしたときだけでなく、公共機関と来てほしい」と話した。

異常気象。この言葉を、ほとんどの人がニュースや新聞で何度も目や耳にしたことがあるだろう。近年特に問題視されてきた地球温暖化がその一因である。

猛暑や暖冬、台風、洪水、干ばつなどの異常気象は世界各地で頻発し、その被害は拡大し、人々の環境問題に対する関心は急速に高まっている。この傾向は、昨年不都合な真実」という、元米大統領ブッシュ氏による環境問題をテーマにしたドキュメンタリー映画が大々的な社会現象を巻き起こしたことから顕著である。

地球環境問題のみならず、私たちが生きるこの地球上には、国際犯罪、紛争、難民問題、経済格差など多様な問題が散在している。これらの問題は密接に結びついて複雑化し、解決に向けた取り組みを困難なものにしている。

### 負の恩恵に関心を

国際問題に限らず、個人の興味・関心に基つき、法・政治・経済などさまざまな視点からプレゼンテーションやディスカッションを行う。知識を深めるとともに、問題解決に向けてのよう取り組むべきかといった問題提起に対し活発な議論をしている。

現在の国際社会では経済開発やグローバル化の促進により、多くの国家がその恩恵を享受している。一方で、前述のような国際社会が対処すべき新たな問題を生み出している。国内や地域で発生した問題が国境を越えて他国へと波及し、もはや一国のみでは解決できない重大な国際問題と化している。

人間が利便性や豊かな生活環境を求めた結果、環境問題など「負の恩恵」をももたらしている。私たちがこれらの問題に対し無関心ではいけない。多くの国際問題は、解決に向けた早急な取り組みを必要としており、その第一歩として一人ひとりが社会に向けてアンテナを張り、身近な関心事から問題意識を持つことが不可欠である。(国際問題研究会・古賀真希18国総4年)

### 入学式 保護者の困惑

本会場の講堂のほか、大きなモニターのあるホール、特別会議室、国際会議室が埋まっています。その他、大講堂の収容定員は1600人で、以前は新入生全員が収容できた。しかし、入学定員が増加し、入りきらなくなったという。

今年度は昨年度より、も大きいテレビを設置するなど、大学側も改善を行っている。来年度は、今年度改修で使えなかった大会館2階階口ビヤ、総合交流館も保護者控え室として使うことを検討している。

入学式では、自分の子どもに会う時間が、大学側のより良い対応が求められる。(S)



### ダンス部定期公演 気持ち一つに春に舞う

公演では、昨年8月に行われた全日本高校・大学ダンスフェスティバルで文部科学大臣賞を受賞した「ワルツ」が私に呼びかける

ダンス部長の成瀬麻美さん(体専4年)は「4年生と後輩の思いのギャップを埋めるのに苦労したが、最後は一つにまとめたのでよかった」と話した。

千葉大学から来たという小林香登さんは「友人がいたのだから、ワルツをもう一回見たい」と満足げに話した。



# Who's Who?



## プールで人命救助 黒田 梨絵 さん (看護医療4年)

今年3月、本学史上初めての人命救助による学長表彰があった(本紙4月号に記事掲載)。その主役となったのが黒田梨絵さん(看護4年)だ。黒田さんは東京出身。2000年に東京大学を卒業した後、6年間東大病院で看護師として勤務した。

### 溺れた学生の命救う 目標はよりよい看護

「看護は女性の世界で、独特の雰囲気がある。医師との関係や、過酷な労働環境などもあり、ストレスの多い現場になってしまつ」と話す。看護師の職場環境を改善した

「海が大好きだ。18歳のころからスキューバダイビングを始め、現在も2、3カ月に1回、沖縄や伊豆に行く。どこにでも海が好きで、ぼーっとしているだけでもいいのだ」という。水難事故の訓練を受けていたことも、1月の救助に役立った。

「海が大好きだ。18歳のころからスキューバダイビングを始め、現在も2、3カ月に1回、沖縄や伊豆に行く。どこにでも海が好きで、ぼーっとしているだけでもいいのだ」という。水難事故の訓練を受けていたことも、1月の救助に役立った。

黒田さんは今回の事故の他に、昨年3月にも飛行機の中でけいれんを起こした1、2歳くらいの児童を助けた。「飛行機では寝ていたのに、職業病なのか、アウンスにはすぐ反応してしまつた」と苦笑する。銀座駅や羽田空港で、AED(自動体外式除細動器)

将来は、研究者になりたいという。「大学院に進学し、看護師の職場環境をよくすることから、よりよい看護を目指していきたい」。多くの救助の経験を生かし、現代医療をよくしようと、現在も邁進中だ。(本紙・関田航II体育専門学群)

## 第33回やどかり祭

### 5月22日-26日交通規制

第33回やどかり祭(やどかり祭)の開催に伴い、5月22日から26日まで、交通規制と駐車規制を行う。規制の時間、場所は次の通り。

- ◆自転車通行禁止
  - 平砂学生宿舎地区および一部の追越地区のペDESTリアン
  - 25日午後5時-10時
  - 26日午前11時-午後8時半
- ◆駐車規制
  - 仮設追越西駐車場
  - 22日午後6時-27日午前0時
  - 平砂駐車場、仮設平砂西駐車場
- ◆仮設西地区駐車場
  - 23日午後6時-27日午後5時
  - 25日午後6時-27日午前0時

## 学園祭ポスター募集

### テーマは「新」筑波世代

学園祭実行委員会では、学園祭の公式ポスターとマスコットキャラクターのデザイン募集を行う。ポスターは、サイズがA2縦(420ミリ×594ミリ)で、「第33回やどかり祭」のイメージを表現し、心臓発作を起こした人を救助したことをテーマとする。

## 双峰祭企画募集

### 5月14日から第1次受付

今年の雙峰祭は10月6日から8日までの3日間開催される。これに向け学園祭実行委員会は参加企画の募集を行う。

第1次受付は、5月14日(月)午前11時35分から午後12時10分まで1C205教室で、午後6時15分から午後8時半までは1C306教室で行う。大電

注意事項など、詳細は募集要項参照。

## 筑波自然図鑑

### ◇フデリンドウ◇



4月上旬、桜の開花と前後して、フデリンドウも紫色の可憐な花を一斉に咲かせた。可憐なのは草丈が小さいわりに大きい花をつけるためである。

ところで、本種は越年草であり、花を咲かせた後は死ぬ運命にある。したがって、彼らは体内の養分を、精一杯開花や果実の形成に費やし、命を犠牲にして子孫を残そうとする。人間にとっては目を和ませる程度の存在かもしれないが、彼らだって必死に生きていっている。 (写真・文 田中弘毅 生物3年 野生動物研究会)

## 新人記者募集

筑波大学新聞編集部では、新人記者を募集しております。学類、年次は問いません。2年生の方も大歓迎です。

次号は  
**6月18日(月)**  
発行予定です

## 催事

◆「木版画の詩人 川上澄生展」5月27日まで。茨城県立つくは美術館で。

◆筑波大学管弦楽団第61回定期演奏会 5月19日午

◆筑波大学吹奏楽団第57

◆「大正デモクラシー」

4月の1位は、成田竜一の「大正デモクラシー」。2位は、佐藤多佳子の「2007年本屋大賞受賞作」。

「瞬間の風になれ第一部」。特に強豪でもない春野台高校陸上部に入部した、幼なじみの二人のスパリスター。ひたすら走る、そのことが、二人を、そして部を変えていく。とびきりの陸上青春小説、三部作。催事は、東京大学出版会フェア、Jリサーチ出版フェア(いずれも15%オフ、6月1日まで)

## 大学会館書籍部ベストセラー

1	大正デモクラシー	成田竜一/岩波書店
2	瞬間の風になれ 1	イチニツイター 佐藤多佳子/講談社
3	ウケる技術	小林昌平・山本周嗣・水野敬也/新潮社
4	大人のための算数練習帳 中学入試編	佐藤恒雄/講談社
5	瞬間の風になれ 2	ヨウイ 佐藤多佳子/講談社
6	瞬間の風になれ 3	ドン 佐藤多佳子/講談社
7	こんなに役立つ数学入門	広田照幸・川西琢也/筑摩書房
8	右翼と左翼	浅羽通明/幻冬舎
9	ジェネラル・ルー・ジュの凱旋	海堂尊/宝島社
10	ひとり日和	青山七恵/河出書房新社